

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
運動器系理学療法学		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
粕山 達也 他	D311	kasuyama	月曜日 14:40~16:10		
授業の目的・概要	運動器疾患に対する理学療法士としての思考の課程を理解し、各疾患に対する理学療法計画を立てることができるようになることを目的とする。各病態に対する理学療法について、理学療法士の実務経験がある教員の下に学習する。各回の内容について、動画を通じて理解し、その後の課題を通じたフィードバックと Teams を利用した意見交換を行い、運動器疾患に関する理解を深める。				
学習上の助言	運動器疾患の基本的な知識を整理し、部位・疾患別に講義を行う。基礎科目の知識を応用し、理学療法の実際に転換する思考を学習する。				
教科書	シンプル理学療法学シリーズ 運動器障害理学療法学テキスト 改訂第2版/監修：細田多穂/南江堂				
参考書	参考書は指定しない				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	運動器疾患の病態について理解する。			PT(1)、(5)	
②	各運動器疾患に対する理学療法評価を立案することができる。			PT(1)、(5)、(6)	
③	評価結果の解釈をし、理学療法計画を立案することができる。			PT(1)、(5)、(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	運動器系理学療法総論について学習する。 [担当；粕山]	印刷教材等での学習	運動器疾患の概論の課題について実施する	2	
2	変形性股関節症について学習する。 [担当；粕山]	印刷教材等での学習	変形性股関節症の課題について実施する	2	
3	変形性膝関節症について学習する。 [担当；粕山]	印刷教材等での学習	変形性膝関節症の課題について実施する	2	
4	脱臼、靭帯損傷 (肩関節脱臼、前十字靭帯損傷等) について学習する。 [担当；粕山]	印刷教材等での学習	肩関節脱臼、前十字靭帯損傷の課題について実施する	2	
5	肩関節周囲炎、腱板損傷について学習する。 [担当；粕山]	印刷教材等での学習	肩関節周囲炎、腱板損傷の課題について実施する	2	
6	スポーツ外傷・障害について学習する。 [担当；遠藤]	印刷教材等での学習	スポーツ外傷・障害の課題について実施する	2	
7	慢性関節リウマチについて学習する。 [担当；粕山]	印刷教材等での学習	慢性関節リウマチの課題について実施する	2	
8	脱臼、靭帯損傷 (膝・足関節靭帯損傷等) について学習する。 [担当；粕山]	同時双方向型授業	膝・足関節靭帯損傷の概要についてまとめる	2	
9	変形性関節症に関する統合と解釈について学習する。 [担当；粕山]	同時双方向型授業	変形性関節症の概要についてまとめる	2	
10	靭帯損傷に関する統合と解釈について学習する。 [担当；粕山]	同時双方向型授業	靭帯損傷の概要についてまとめる	2	
11	骨折 (大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折、橈骨遠位端骨折等) について学習する。 [担当；関口]	同時双方向型授業	骨折の概要についてまとめる	2	
12	脊髄損傷 (頸髄、腰髄) について学習する。 [担当；関口]	同時双方向型授業	脊髄損傷の概要についてまとめる	2	
13	脊椎疾患、腰痛症について学習する。 [担当；関口]	同時双方向型授業	脊椎疾患の概要についてまとめる	2	
14	骨壊死疾患、骨形成不全 (側弯症) について学習する。 [担当；関口]	同時双方向型授業	骨壊死疾患、骨形成不全 (側弯症) の概要についてまとめる	2	
15	運動器疾患に関する考察の仕方について学習する。 [担当；粕山]	同時双方向型授業	運動器疾患についてまとめる。	2	
試	定期試験				

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	30	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	40	10	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	30	10	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	各疾患の病態に対する理解、理学療法評価・理学療法計画ができるかを確認するために筆記試験（国家試験形式）を行う。				終了後、確認に来た学生には、答案の解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	各講義の課題およびレポートを提出する。				各回の課題に対して開設を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎粕山 達也、関口 賢人、遠藤 悠介</p> <p>教員の実務経験：理学療法士（臨床経験 14 年） 整形外科クリニック 6 年 訪問リハビリテーション 8 年 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（臨床経験 14 年、資格取得後 4 年）</p> <p>実践的な授業内容：臨床現場に多い運動器系疾患に関する講義を行い、症例を提示した実践的な学習課題を提供する。疾患特異的な評価方法の実際や治療手技の内容を指導する。</p> <p>課題のフィードバックは、課題の解説にて返却する。意見交換については、原則として授業時間内に行うがメールや Teams でも随時対応を行う。</p> <p>Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨します。遠隔授業では、課題のダウンロードや動画視聴などがありますので、通信量に十分に注意してください。</p> <p>今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性がある。</p>							